



内 容

- ・はじめに
- ・「にじいろのーと」の使い方 HOW TO

基本編

- ・プロフィール
- ・発達経過のおぼえ
- ・手帳・手当の記録
- ・相談の記録
- ・検査の結果

医療編

- ・かかりつけ医療機関
- ・通院の記録
- ・医療情報のまとめ
- ・お薬の記録
- ・入院の記録

療育・学校・就労編

- ・療育の記録
- ・利用サービス
- ・個別の教育支援計画
- ・就労の記録

- ・思い出のページ

名前

三重県亀山市

リサイクル適性Ⓐ

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

R 80

古紙パルプ配合率 80%
白色度 85%の再生紙



はじめに

「にじいろのーと」は、支援の必要なお子さんが、「切れ目ない」支援を受けられるよう、情報をスムーズに引継ぐための連携支援ツールです。保護者が記入、作成、保管してください。

作成にあたっては、もれなく記入しなくてはならないということではありません。どのページからも作成することができます。母子手帳などで代用できるページもあります。本人が受けた（受けている）支援の情報、伝えたいと思われる情報に関する箇所から記入してください。また、ファイル形式になっていますので、残しておきたい記録は、一緒にファイルにとじて残してください。

「にじいろのーと」の使い方

各相談機関等の相談や支援を受ける時、福祉や医療サービスを受ける時、就学時や進学時、就労への引継ぎ時等、学校や相談支援にあたる関係者に「にじいろのーと」を提示することで、これまでの支援の経過など必要な情報を共有することができます。

「にじいろのーと」を活用し、お子さんの情報を関係や間で共有することで、お子さんや保護者の方へのより良い支援につながることが期待できます。

「にじいろのーと」は、お子さんの大切な情報が盛り込まれているものです。保護者の方や本人が大切に管理してください。



関係者の皆様へ

この「にじいろのーと」には、お子さんの教育、医療、福祉等の各関係機関の情報が盛り込まれています。保護者からこの「にじいろのーと」を提示されたときには、より良い支援につなげるための情報共有のツールとしてご利用ください。

また、「にじいろのーと」には、受けた支援を記録するページ等があります。保護者が記入することになっていますが、相談の記録等を求められた時には、ご協力を願いいたします。



「にじいろのーと」の問い合わせ先

亀山市健康福祉部子ども未来課子ども支援グループ

Tel : 0595-83-2425

Fax : 0595-83-2431

住所：亀山市羽若町545番地（〒519-0164）

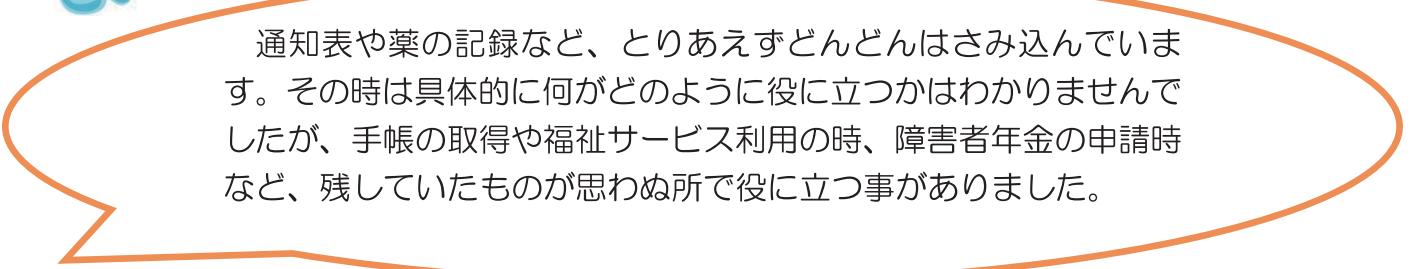


「にじいろのーと」の使い方 HOW TO

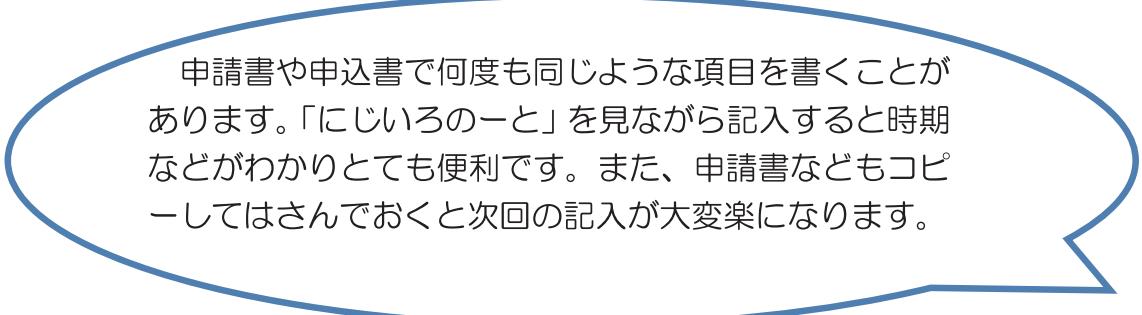
「にじいろのーと」をどのように使っているか、保護者の方々に聞きました。ぜひ参考にして、このファイルを活用してください。



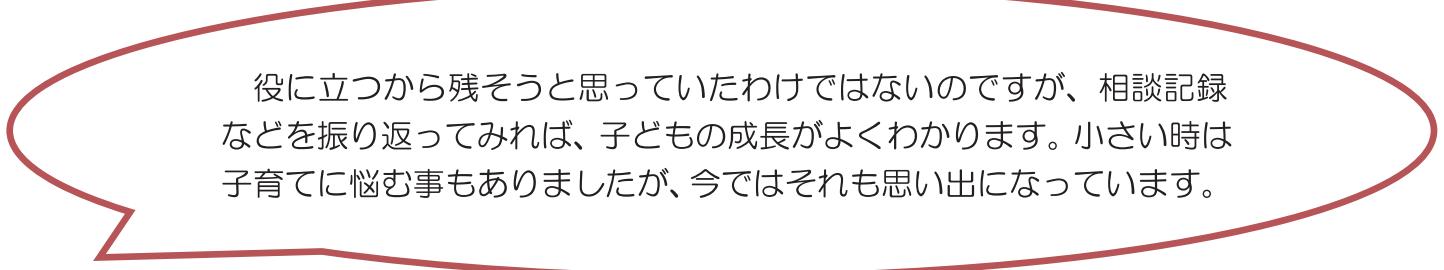
自分がメモした相談の内容や発達検査の記録などをとじています。これらの記録は学校に入る時、事前の相談で子どもの特徴を理解してもらうのに役立ちました。先生方の配慮のおかげで、子どもは毎日楽しく学校に通っています。



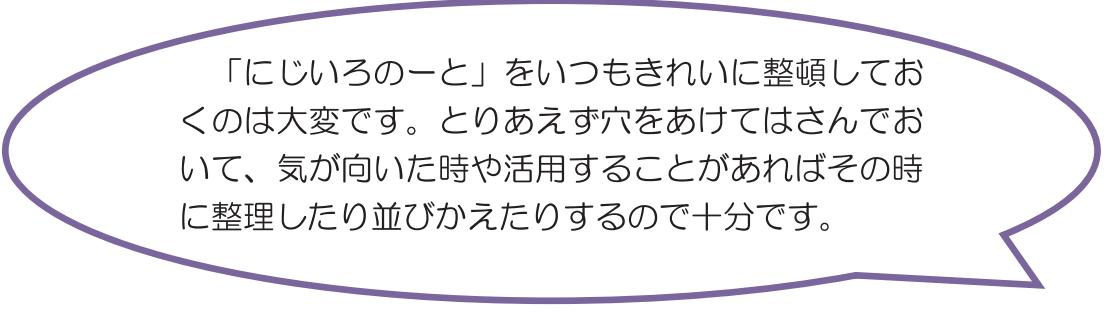
通知表や薬の記録など、とりあえずどんどんはさみ込んでいます。その時は具体的に何がどのように役に立つかはわかりませんでしたが、手帳の取得や福祉サービス利用の時、障害者年金の申請時など、残していたものが思わず所で役に立つ事がありました。



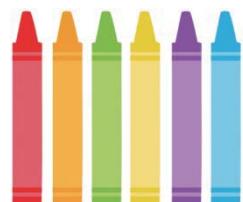
申請書や申込書で何度も同じような項目を書くことがあります。「にじいろのーと」を見ながら記入すると時期などがわりと便利です。また、申請書などもコピーしてはさんでおくと次回の記入が大変楽になります。



役に立つから残そうと思っていたわけではないのですが、相談記録などを振り返ってみれば、子どもの成長がよくわかります。小さい時は子育てに悩む事もありましたが、今ではそれも思い出になっています。



「にじいろのーと」をいつもきれいに整頓しておくのは大変です。とりあえず穴を開けてはさんでおいて、気が向いた時や活用することがあればその時に整理したり並び替えたりするので十分です。





プロフィール

(ふりがな) 名前					
生年月日	年	月	日	性別 男 • 女	
住所・連絡先	〒	TEL 自宅 携帯			
家族	名前			続柄	
就園歴 就学歴 療育歴 など	就園一	年	月～	年	月 () 保・幼・認
		年	月～	年	月 () 保・幼・認
		年	月～	年	月 () 保・幼・認
	就学一	年	月～	年	月 () 学校
		年	月～	年	月 () 学校
		年	月～	年	月 () 学校
	療育経験一	有	•	無	





○出生時

- ・出生体重 () g
- ・在胎週数 () 週

○乳幼児健康診査で医師等から伝えられたこと

- ・4ヶ月児健診 ()
- ・10ヶ月児健診 ()
- ・1歳6ヶ月健診 ()
- ・3歳児健診 ()

○できた時期を書いてください

- ・首がすわる () ヶ月
- ・あやすと笑う () ヶ月
- ・寝返りをする () ヶ月
- ・お座りをする () ヶ月
- ・ハイハイをする () ヶ月
- ・人見知りをする () ヶ月
- ・おしゃべりをするように声を出す () ヶ月
- ・つかまり立ち () ヶ月
- ・一人で立つ () ヶ月
- ・一人で歩く () ヶ月
- ・指差しをする () ヶ月
- ・バイバイと手をふる () ヶ月
- ・マンマ、ブーブーなど意味のある言葉を話す () ヶ月
- ・走る () ヶ月
- ・階段の昇り降りをする () ヶ月
- ・「わんわん来た」などの二語文を話す () ヶ月
- ・ごっこ遊びをする () ヶ月
- ・○を真似て書く () ヶ月
- ・オムツがはずれる () ヶ月
- ・自分の名前が言える () ヶ月
- ・離乳食の開始時期……1回食 () ヶ月、2回食 () ヶ月、3回食 () ヶ月

・好きな遊び

	どんな遊び
2～3歳頃	
3～6歳頃	





手帳・手当の記録

手帳・手当の種別 (身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者 保健福祉手帳・特別児童扶養手当など)	判定年月日	更新年月日	障がいの程度
	年 月 日	年 月 日	
	年 月 日	年 月 日	
	年 月 日	年 月 日	
	年 月 日	年 月 日	
	年 月 日	年 月 日	
	年 月 日	年 月 日	
	年 月 日	年 月 日	
	年 月 日	年 月 日	
	年 月 日	年 月 日	
	年 月 日	年 月 日	
	年 月 日	年 月 日	
	年 月 日	年 月 日	
	年 月 日	年 月 日	
	年 月 日	年 月 日	





相談の記録

相談等年月	機関名等	内容等
記入例 29年1月1日	子ども支援室	発達相談：言葉の遅れがあるので、興味を持ったことを中心に話しかけるようにする。
年　月　日		
年　月　日		
年　月　日		
年　月　日		



相談等年月	機関名等	内容等
年　月　日		
年　月　日		
年　月　日		
年　月　日		

メモ

検査の結果



【メモ】

検査の結果を残したり、とじたりしておくと、学校での懇談時、病院の受診時、療育手帳の判定時などに、とても便利です。将来の福祉サービス申請時に役に立つこともありますので、ひかえたりとじたりしておきましょう。

○新版 K式発達検査 2001

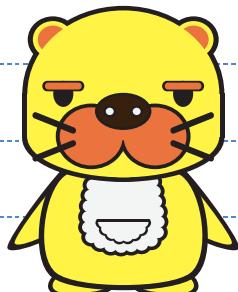
発達を運動、言葉、道具や情報の扱い方という三つの方向から調べる検査です。DQ（発達指數）は実際の年齢に対して発達が何%かを示しています。

○WISC-IV

知能を言葉の理解、見て行う情報処理、その場で聴いて行う情報処理、速く正確な情報処理という四つの方向から調べる検査です。この検査の IQ（知能指數・合成得点）は平均点を 100 としたときの偏差値を示しています。

○田中ビネー知能検査V

知能を何歳ぐらいの課題まで答えることができるかによって調べる検査です。14 歳未満の児童では、この検査の IQ は実際の年齢に対して精神年齢が何%であるかを示しています。



こうした発達検査や知能検査は、遊び、勉強、スポーツなどの知的な活動について、どのような手段や方法の選択や環境の準備が本人にとってメリットであるのかを調べるために行われます。



かかりつけ医療機関

診療科	医療機関名	受 診 期 間	備 考
内 科		年 月 日～ 年 月 日	
小児科		年 月 日～ 年 月 日	
精神科		年 月 日～ 年 月 日	
心療内科		年 月 日～ 年 月 日	
耳鼻科		年 月 日～ 年 月 日	
眼科		年 月 日～ 年 月 日	
皮膚科		年 月 日～ 年 月 日	
外 科		年 月 日～ 年 月 日	
整形外科		年 月 日～ 年 月 日	
歯 科		年 月 日～ 年 月 日	
科		年 月 日～ 年 月 日	
科		年 月 日～ 年 月 日	
科		年 月 日～ 年 月 日	
科		年 月 日～ 年 月 日	





通院の記録

医療情報があつたらとじておきましょう。

症 状	診 斷	治療期間	医療機関名 (担当医師名)	治療内容	その他
記入例 痙攣がおきた	てんかん	H29年1月	〇〇医院 (〇〇医師)	服薬治療	3ヶ月間痙攣は 起きていない。





医療情報のまとめ

○けいれん症状

- ※熱性けいれんといわれたこと(ある・ ない) 診断日() 主治医()
発作があった年月日(年 月 日) 回数()回
けいれんの長さや様子()
けいれん時の対応()
※てんかんと診断されたこと(ある・ ない) 診断日() 主治医()
発作があった年月日(年 月 日)
けいれんの長さや様子()
けいれん時の対応()
※その他の原因でけいれんをおこしたこと(ある・ ない)
発作があった年月日(年 月 日)
けいれんの長さや様子()
けいれん時の対応()
※その他特記事項()

○アレルギー

※具合が悪くなった食べ物

- 食べ物の名前()
その症状()

※具合が悪くなった内服薬や注射薬

- 薬の名前()
その症状()

※アレルギー症状

- | | | |
|----------|---------|-----|
| アトピー性皮膚炎 | ある(原因) | ・ない |
| じんましん | ある(原因) | ・ない |
| 喘息 | ある(原因) | ・ない |
| 鼻炎 | ある(原因) | ・ない |
| 結膜炎 | ある(原因) | ・ない |
| その他() | (原因) | () |

※その他特記事項()

体質の特徴(身体面での病気や体質について)

[例:熱を出しやすい、中耳炎になりやすい、視力・聴力の心配など]





薬局でもらった薬の説明書などを貼ったりとじたりしておくと覚えになり便利です。

※薬に関する覚え書き

記入例	
薬の名前 ○○○○○○○	○○の作用がある。 眠気が強くなった。





入院の記録

症 状	診 斷	治療期間	医療機関名 (担当医師名)	治療内容	その他
記入例 発作	ぜんそく	H29.1/1～ 1/15	〇〇病院 (〇〇医師)	吸入療法	





療育の記録

期間	療育機関名	療育の目標と様子
記入例 H29.4.11～6.13 (約60分/週1回)	子ども支援室 集団療育 わくわくっこ	○初めての場所や人に慣れる。 ○約束や順番があることを知る。 ・出来たことを一つひとつ認められることで、楽しく活動に参加できるようになった。 ・絵カードを用いることで見通しが持て、安心して待つことが出来た。

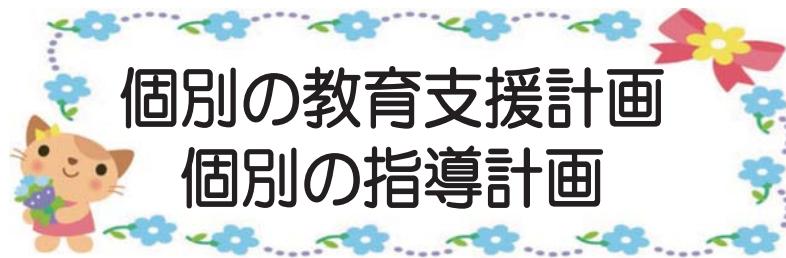




短期入所・日中一時支援・放課後デイサービスなどの利用の記録

サービス	利用開始	事業所名	内容など
記入例 短期入所	H29.1.10～1.14	○○事業所	母の入院のため





「個別の教育支援計画」・・・他機関との連携を図るための長期的な計画です。

一人ひとりの障がいのある子どもについて、乳幼児期から学校卒業後までの一貫した長期的な支援の計画を学校が中心となって作成します。保護者の方をはじめとして、教育、医療、福祉等の関係機関が連携して支援するためのツールです。

「個別の指導計画」・・・学校で指導を行うための細かい計画です。

「個別の教育支援計画」をもとに、一人ひとりの教育的ニーズに対応して、指導目標や指導内容・方法を盛り込んだ学校での指導の計画です。

「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を作成する時、また、入学した時や学校の懇談時に、この「にじいろの一と」を利用して学校と情報共有ができると便利です。「『にじいろの一と』を持っています。」と学校にお伝えください。



※個別の教育支援計画・個別の指導計画をつくるにあたって、学校に伝えていただきたいこと。

○本人の願い・・・将来の夢、「こんなふうになりたい」など。本人が伝えにくい場合は、ご家庭で本人の願いをつかんでいただいて、保護者の方から伝えてもらえるとありがたいです。

○保護者の願い・・・子どもさんが「将来、こんなふうに生活して欲しい」「こうなってもらいたい」など。

○家庭での様子・・・学習面、行動面、社会性などで、得意なことや苦手なこと、好きな遊びなど。家庭で、「こうすればうまくいった」こと。過敏なところ（大きな音が怖い、雷が怖い）など。

○学校で配慮してもらいたいこと

○かかっている医療機関、服薬の状況、利用している福祉サービスなど

【メモ】



実習や職業訓練の記録

年月日・期間	場 所	内 容	感想・評価	備 考

就労の記録

年月日・期間	企業・業種	勤務内容	勤務時間	連絡先	備 考

計画相談の記録や
履歴書のコピーも
とじておくと便利
です。





読み返してほっこりとしていただきくページです。自由にご記入ください。



保育園・幼稚園時代～印象的なエピソードや先生から聞いたお話・将来の夢など

○ 小学校・中学校時代～印象的なエピソードや先生から聞いたお話・将来の夢など

かわいい写真・かっこいい写真

似顔絵など

よいところ・かわいいと思うところなど